

授業科目 栄養教育論 II

【担当教員名】 齋藤 トシ子		対象学年	3	対象学科	健康
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 ライフステージ及びライフスタイル、傷病別に応じた栄養教育のあり方、方法を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 妊娠・授乳期の栄養教育の基本を知る 2. 乳・幼児期、学童期、思春期、青年期、成壮年期、高齢期の栄養教育の基本を知る 3. 特定健診、傷病者、障害者への栄養教育の基本を知る 4. 食環境づくりと栄養教育を知る					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション			1	講義
2	妊婦、授乳期の栄養教育			2	講義
3	乳児期の栄養教育			2	講義
4	幼児、学童の栄養教育			2	講義
5	同上			2	講義
6	食物アレルギー児・保護者への教育			2	講義
7	思春期、青年期の教育			2	講義
8	スポーツ実施者への教育			2	講義
9	特定健診、特定保健指導の方法、肥満者への教育			3	講義
10	高血糖、糖尿病（II型）者への教育			3	講義
11	脂質異常症、高血圧者への教育			3	講義
12	多量飲酒者への教育			3	講義
13	高齢者への教育（介護予防に向けての教育）			3	講義
14	障害者への教育			3	講義
15	食環境づくりと栄養教育			4	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		健康・栄養科学シリーズ 改訂第3版 栄養教育論	丸山千寿子 他	南江堂	2013・3,200円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 1. 妊娠・授乳期の栄養教育、乳・幼児期、学童期、思春期、青年期、成壮年期、高齢期の栄養教育、特定健診、傷病者、障害者への栄養教育の基本を知ったか、2. 食環境づくりと栄養教育、栄養教育国際動向を知ったかを定期試験から総合的に評価する。出欠、授業に対する意欲・積極性も評価に加える。			【履修上の留意点】		